持続可能な公共交通の実現を目指して

北九州市の助成制度を活用し
車両小型化によるバス路線の維持に取り組みます

●西鉄バス北九州株式会社（社長：安田堅太郎）は、北九州市の助成制度を活用し、市内および周辺部を運行するバス路線の維持に向けた取り組みを行います。

●同市ではこれまで、路線バスが廃止となった地区などの公共交通空白地域において運行する「おでかけ交通」へ助成してきましたが、2020 年度より、バス路線の廃止予防として車両の小型化により路線維持を行うものに対しても助成対象とするよう、制度拡充しています。

●当社では、2020 年 10 月より「戸畑循環線」において同制度を活用し路線維持を図っておりましたが、本年 10 月より、市内および周辺部を運行する、採算性が厳しく当社単独での路線維持が極めて困難な 5 路線 9 台について、同制度を活用して路線維持に取り組むことといたしました。

●人口減少や少子高齢化の進展に加え、コロナ禍により路線バス事業を取り巻く環境は一層厳しいものとなっており、バス事業者が単独で路線維持を図るのは困難な状況です。当社では今後も本制度を活用することで、北九州市と協働で市内バス路線の維持に取り組み、持続可能な公共交通の実現に努めてまいります。沿線住民の皆様におかれましても、末永く路線が維持されるよう、多くのご利用を頂きますようお願いいたします。

■「車両小型化によるバス路線維持」について

【実施日】2021 年 10 月 1 日（金）
【導入車両】日野「ポンチョ」および三菱ふそう「ローザ」

日野「ポンチョ」（乗車定員 28 名）

三菱ふそう「ローザ」（乗車定員 27 名）

【導入路線および台数】

行先番号	路線名	主な運行区間	車両タイプ	導入台数
1,2,3	東谷～徳力	徳力公団前駅～頂吉越/中谷（※1）	ポンチョ	1
19	行橋～下曽根（※2）	行橋営業所～九州労災病院	ポンチョ	2
55	七条フィーダー	八幡東ニュータウン～スピナラソリエ	ローザ	2
73	鳴水（八幡駅）	黒崎～鳴水～八幡駅	ポンチョ	2
74-2	宮の谷	黒崎～則松～永犬丸～引野口	ポンチョ	2
合計				9

※1：うち、山ヶ迫～頂吉越間は一年間の試行運行です。

※2：北九州市のほか、沿線の苅田町・行橋市および福岡県、国の助成も受ける予定です。

【その他】上記路線において、2021 年 10 月 1 日（金）にダイヤ改正を実施いたします。
運行内容および改正内容の詳細については、9 月 17 日（金）に関係バス停および同社ホームページ「西鉄バスっちゃ！北九州」にて公開予定です。

■北九州市「車両小型化によるバス路線維持」支援制度の概要

【対象】既存バス路線の廃止予防のため、車両の小型化により路線の維持を行うバス路線

【主な助成内容】①対象路線の運行経費の一部
②対象路線に使用する車両購入費用の一部
③新設バス停等のりばの整備費用